

NEWS RELEASE

報道関係者 各位

ニッケグループ社員への年頭挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましても、気持ちを新たに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
年頭に当たり、ニッケグループの皆様へご挨拶を申し上げます。また、年末年始も勤務されていただきましたみなさん、ご苦労様でした。

昨年、2017年度はRN130ビジョン始動となる第一次中期経営計画の1年目でした。各事業を着実に伸ばすと共に、加古川パークタウン別館のリニューアルに始まり、介護、キッズ、菓子小売事業の積極的な出店、認可保育や英語学童保育などの新規事業、M&A投資等、今後の成長への布石も打ってきた1年でした。みなさんのチャレンジの成果と感謝いたします。



2017年はAI元年と言われました。単純な作業はいずれAIにとって替わられることは間違いありません。日本ではホワイトカラーの生産性が低いと言われていますが、保守的で非効率な企業風土の中で、定型的な単純作業を多くこなさなければならないという側面があるからでしょう。今後は、AIが仕事を奪うのではなく、という発想ではなく、いかにAIを駆使して業務を効率化するか、という目線で考えなければなりません。これからの時代は、思考力や対話力といった人間ならではの能力が一層重視されます。未来を見据え、自ら学び、考え、物事の本質を理解する力を持った人財が、20年、30年先のニッケグループを支えていく力になることを肝に銘じて下さい。

さて、本年は「戌年」となります。戌年は「守り」の年といわれています。「戌」という字は「滅」という字に由来することから、「草木が枯れて休眠する年」と言われ、枯れた後に生まれる「新しい命を守る」という意味があるそうです。守ってばかりではビジネスになりませんが、リスク管理、コンプライアンスなどを真摯に行うことが信頼につながり、既存の顧客はもとより、新たな顧客の開拓へとつながっていきます。

2018年度はRN130ビジョン第一次中期経営計画の2年目にあたる年です。1年目で打った布石を2年目で育て、最終年度となる2019年度では目標の売上高1,200億円、営業利益90億円という結果を出せるようひたむきに事業に向き合っていきます。

最後になりますが、今年もニッケグループの皆様とご家族が明るく健やかに過ごせる1年になるよう祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

ニッケグループ代表
ニッケ 代表取締役社長 富田 一弥**《本件に関する問い合わせ先》**ニッケ 総務法務広報室
室長 國枝 康雄
Tel : 06-6205-6601